

【書式A】

施設名 本部事務局

処理番号 8000

大項目	IV 予算（人件費の見積もりを含む）、収支計画及び資金計画							
中項目	1. 予算 2. 収支計画 3. 資金計画							
事業名	予算、収支計画、資金計画							
【年度計画】								
1. 予算 別紙のとおり								
2. 収支計画 別紙のとおり								
3. 資金計画 別紙のとおり								
担当部課	本部事務局財務課			事業責任者	課長 数馬厚人			
【実績・成果】								
<ul style="list-style-type: none"> <li>元年度当初予算について、30年度中に予算配分を実施し、早期に業務を遂行できる体制を整備した。</li> <li>人件費予算は本部一括管理とし、無駄のない効果的な活用が図られた。</li> <li>精算払の外部資金により資金繰りが困難となる施設に対し、あらかじめ資金の貸与を行うなど、法人全体として効率的な資金管理を実施した。</li> <li>総務担当理事を中心とした検討チームを立ち上げ、有識者や関係各所の意見を踏まえ、4博物館および飛鳥資料館の平常展観覧料金を2年4月から改定することを発表した。</li> <li>四半期ごとに入金される運営費交付金について、国に対し各期の必要額をあらかじめ伝えておくことにより、計画的な資金管理を実施した。</li> </ul>								
【補足事項】								
【定量的評価】項目	元年度実績	目標値	評価	経年変化	27	28	29	30
-	-	-	-	-	-	-	-	-
【年度計画に対する総合評価】 評価：B	【判定根拠、課題と対応】 概ね当初計画に沿った管理が行われている。また、年度内に起こった不測の事態にも速やかに対応した。							
【中期計画記載事項】 管理業務の効率化を図る観点から、各事業年度において、適切な効率化並びに積極的な自己収入の増加に向けた取組を踏まえた予算及び収支計画による運営を行う。								
【中期計画に対する評価】 評価：B	【判定根拠、課題と対応】 計画どおり取組を実施している。							